

オルガノ株式会社

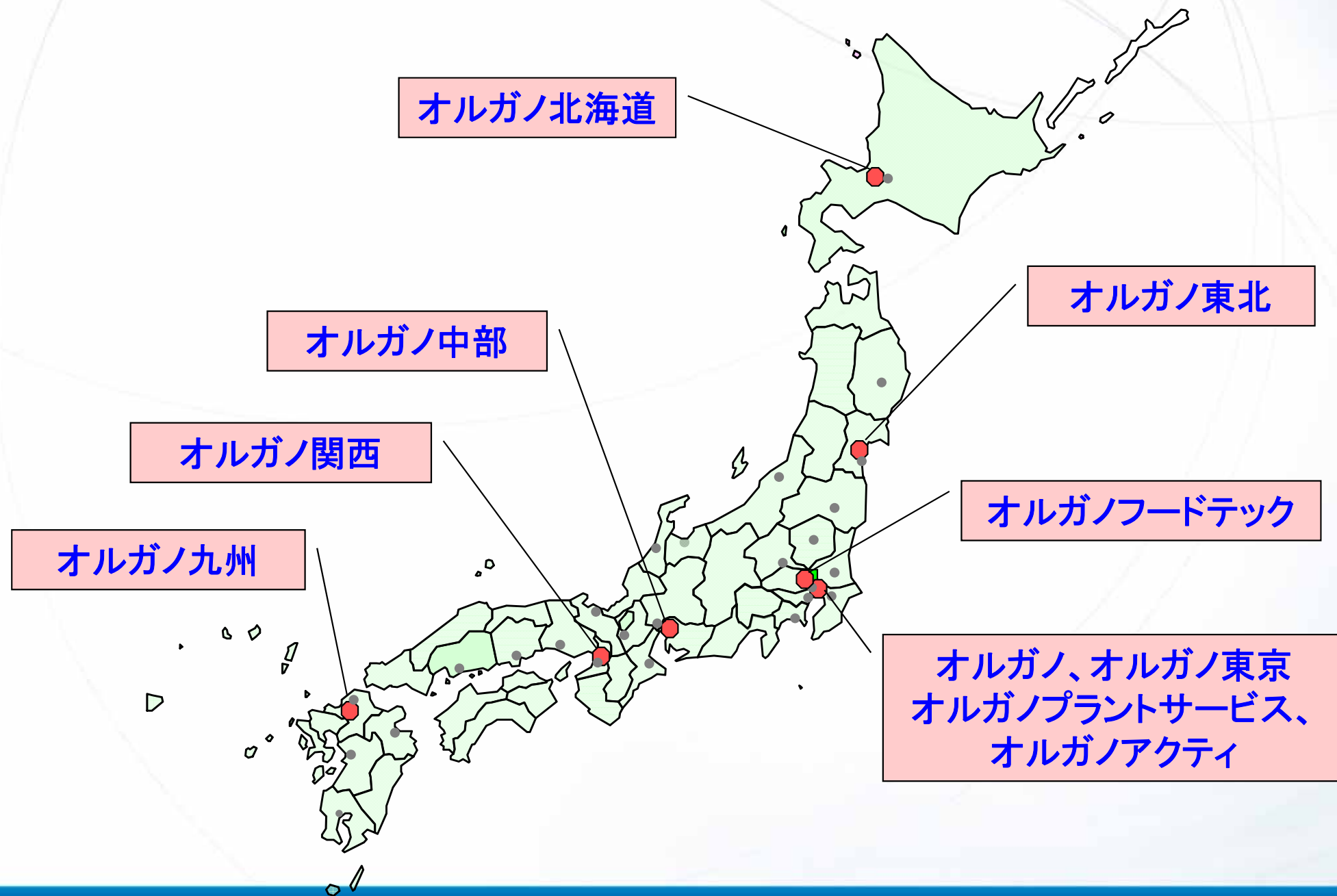
2013年3月期決算説明会

(2013年5月15日 16：00～)

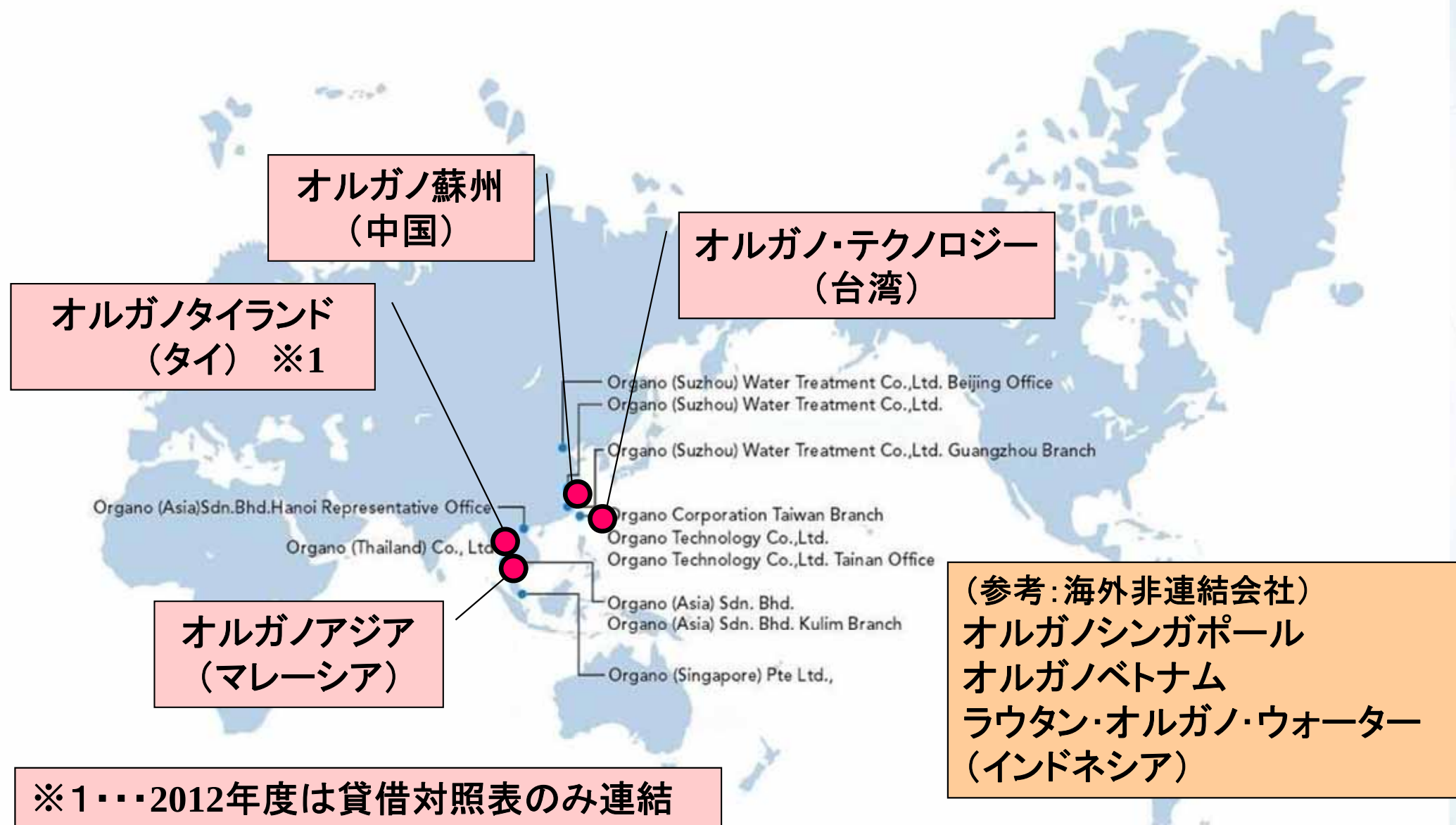
2013年3月期 決算報告 及び 2014年3月期 計画

代表取締役社長
内田 裕行

連結対象グループ会社(国内)



連結対象グループ会社(海外)

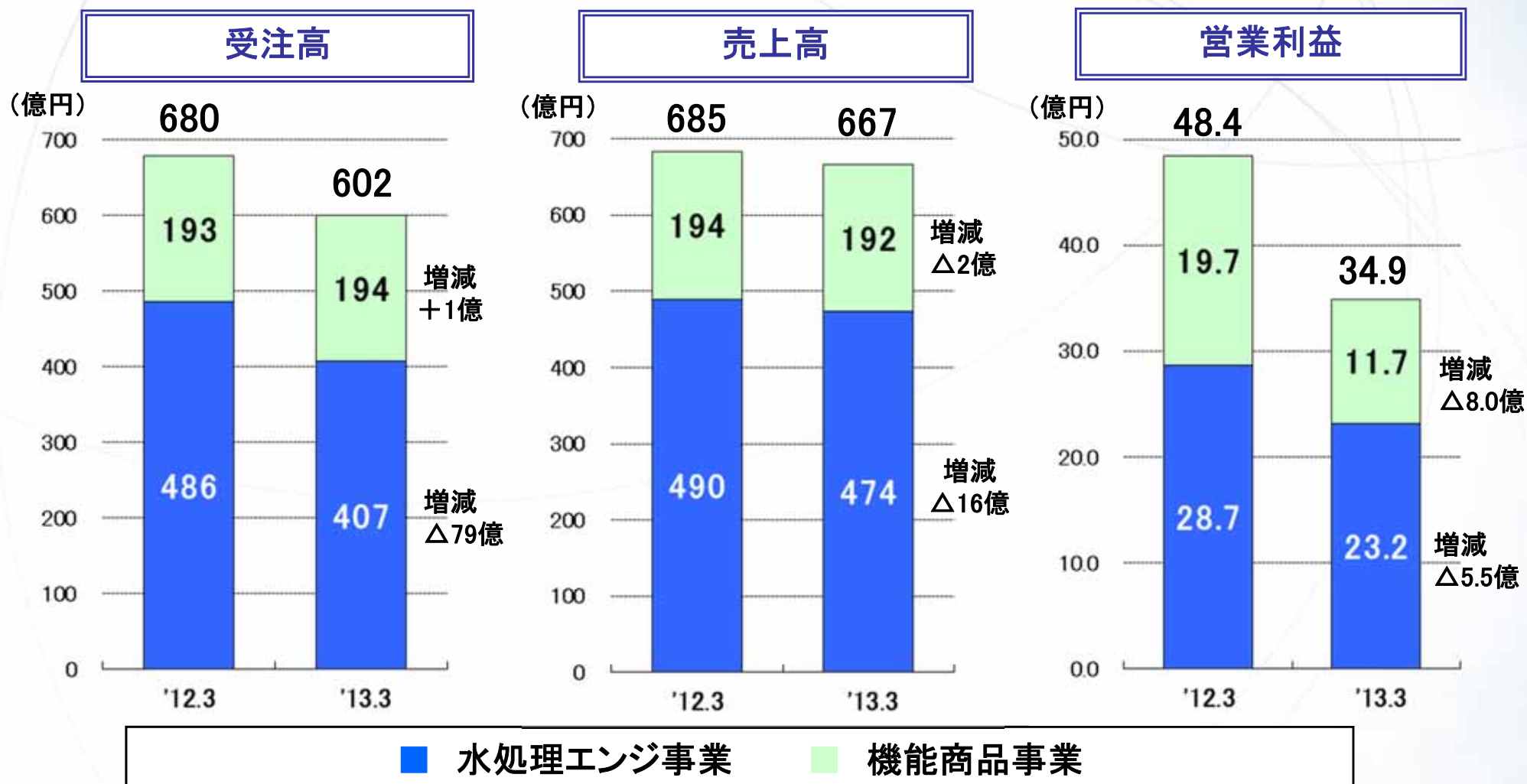


2013年3月期実績

(単位:億円)

	12.3 実績	13.3 修正計画	13.3 実績	前期差	修正 計画差
受注高	680	700	602	△ 78	△ 98
売上高	685	700	667	△ 18	△ 33
売上総利益 (%)	183 (26.8%)	175 (25.0%)	168 (25.3%)	△ 15 △1.5pt	△ 7 +0.3pt
販管費	135	135	133	△ 2	△ 2
営業利益	48	40	34	△ 14	△ 6
経常利益	47	39	39	△ 8	+ 0
当期純利益	26	22	25	△ 1	+ 3

2013年3月期実績(セグメント別)

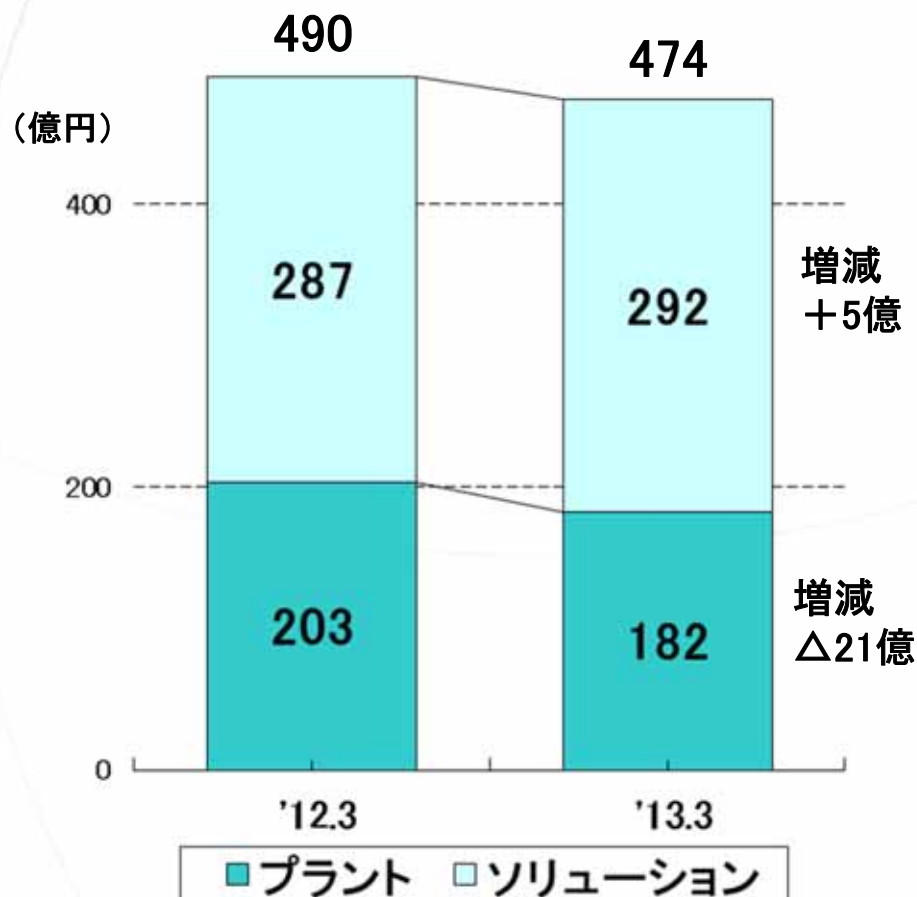


【水処理エンジ事業】：受注高については震災復旧需要により大きく増加した前期と比べて減少、営業利益については売上高の減少や採算性の低下などにより減少した。

【機能商品事業】：受注高、売上高共に前期並み、営業利益については採算性の低下や営業費用の増加などにより減少した。

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

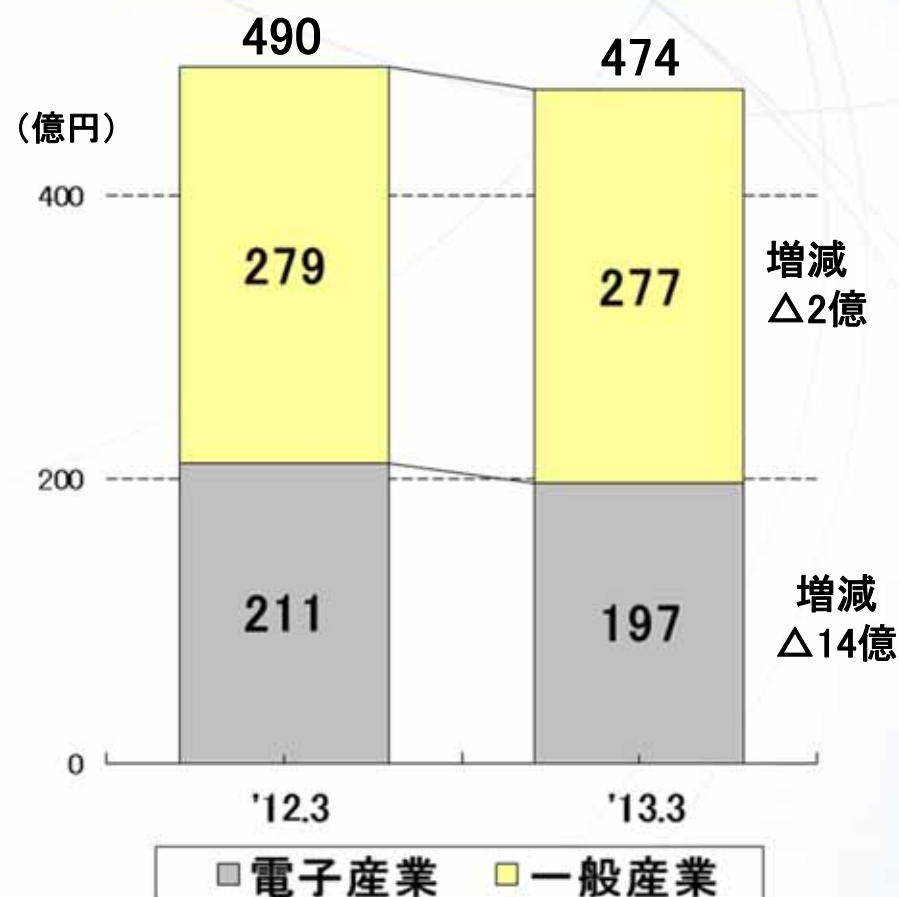
部門別売上高



【プラント】:国内電子産業向けプラントの落込みなどにより減少した。

【ソリューション】:海外産業全般のソリューションビジネスの伸長などにより増加した。

顧客別売上高

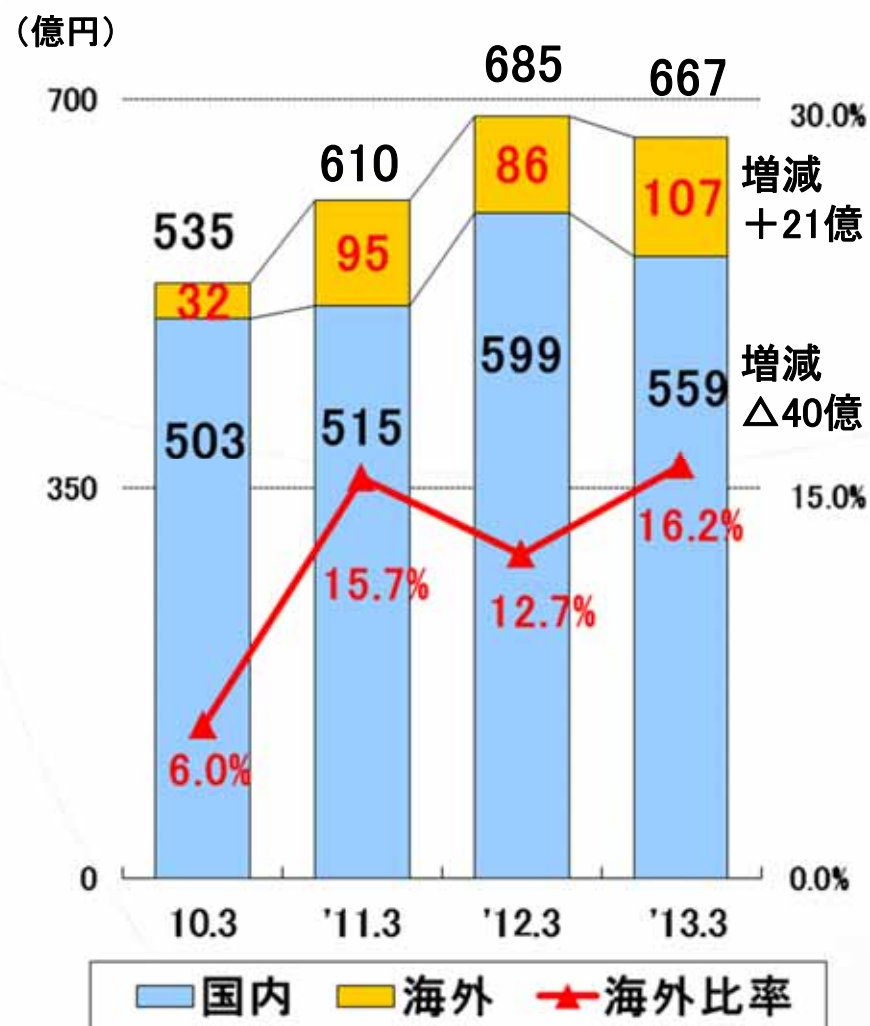


【電子産業】:海外のプラントが増加した一方で、国内が設備・メンテナンス共に低調で減少した。

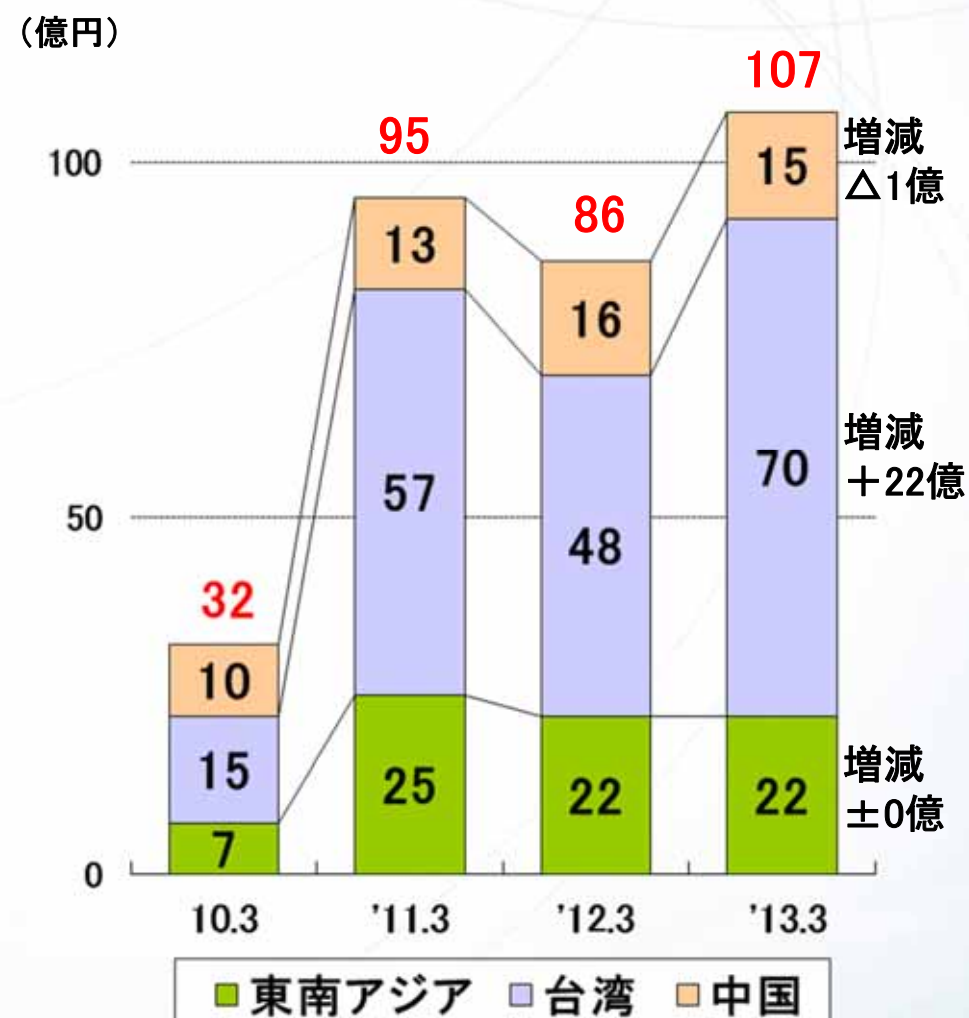
【一般産業】:国内の上下水道プラントが伸長したものの案件の延期などもあり前期並みとなった。

地域別売上高

国内・海外別売上高

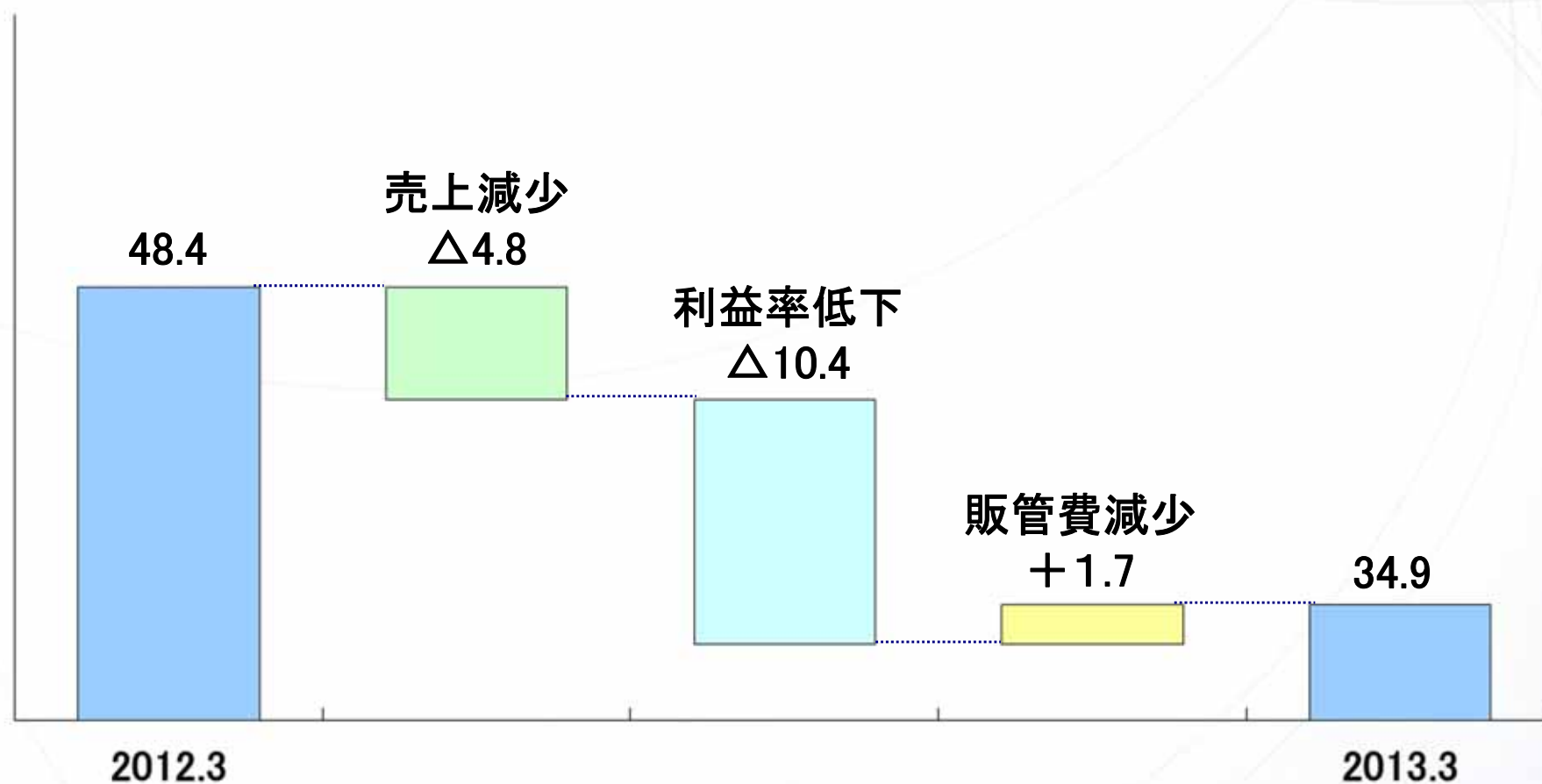


海外地域別売上高



2013年3月期営業利益分析(要因別)

(単位: 億円)



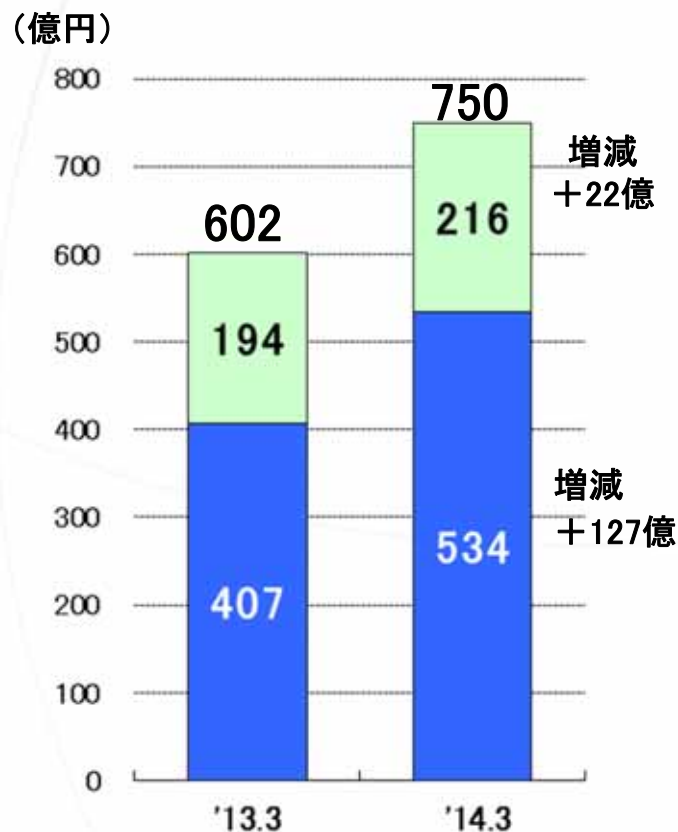
2014年3月期計画

(単位:億円)

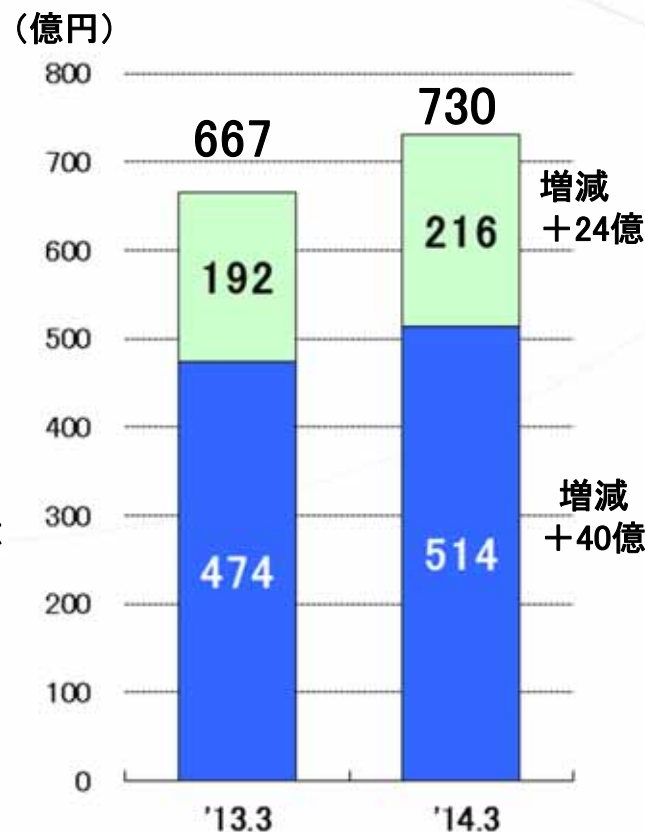
	13.3 (実績) 通期	14.3 (計画) 通期	通期 比較
受注高	602	750	+ 148
売上高	667	730	+ 63
売上総利益 (%)	168 (25.3%)	169 (23.2%)	+ 1 △2.1 pt
販管費	133	139	+ 6
営業利益	34	30	△ 4
経常利益 (%)	39 (5.9%)	28 (3.8%)	△ 11 △2.1 pt
当期純利益	25	15	△ 10

2014年3月期計画(セグメント別)

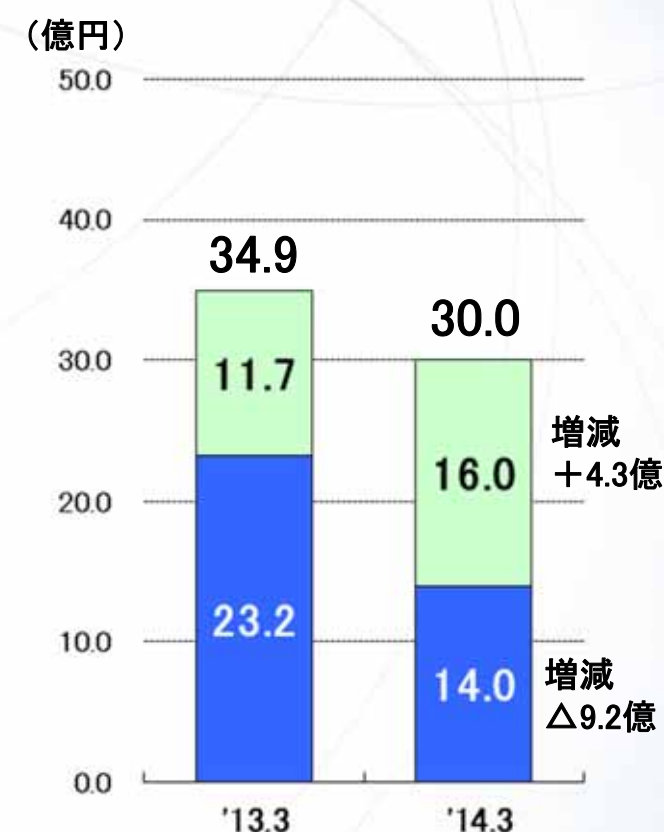
受注高



売上高



営業利益



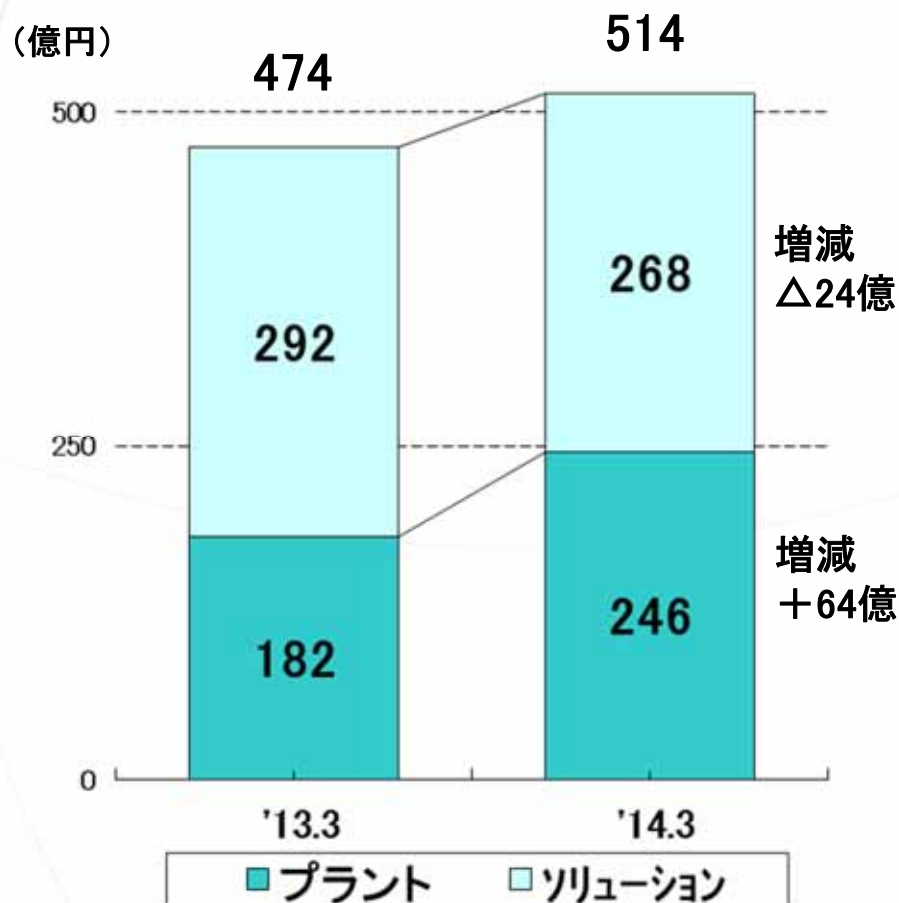
■ 水処理エンジニアリング ■ 機能商品事業

【水処理エンジニアリング】：受注高、売上高については海外産業全般の伸長、国内食品向けプラントや環境・排水事業分野の伸長などにより増加を見込む。営業利益については売上構成の変化により減少を見込む。

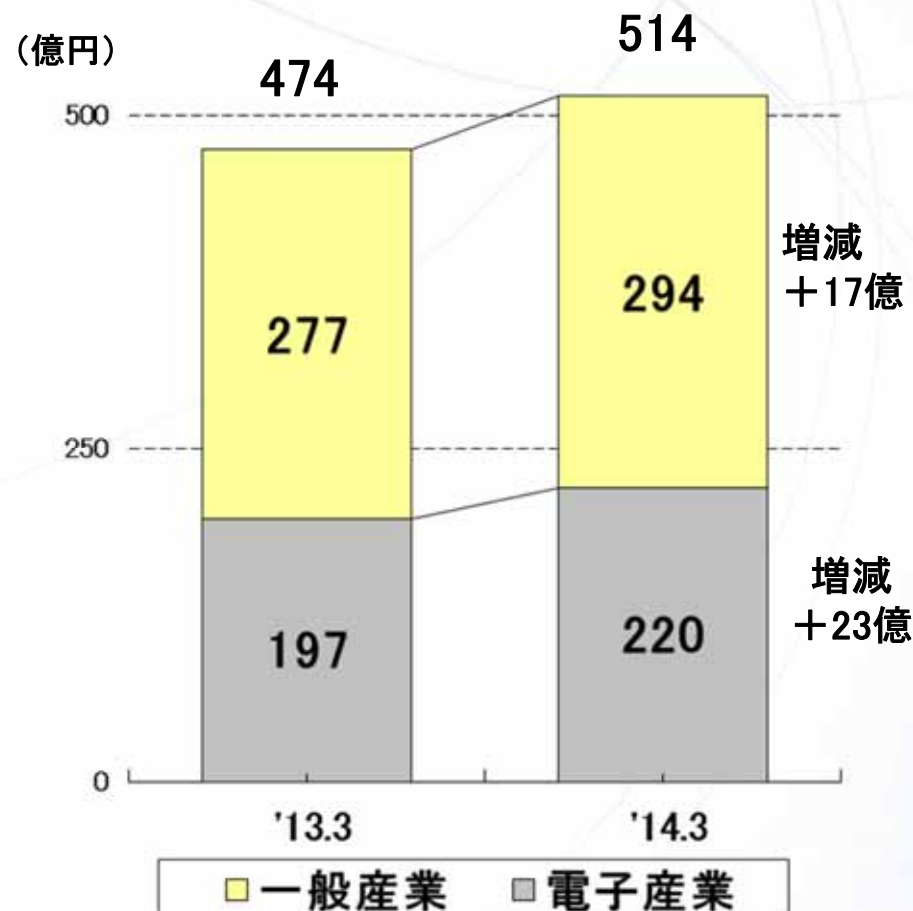
【機能商品事業】：顧客工場の操業度回復、新商品の開発やリニューアルなどにより増加を見込む。

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

部門別売上高



顧客別売上高



【プラント】：国内外の電子産業向けプラントや食品向けプラント、環境・排水事業分野の伸長などにより増加を見込む。

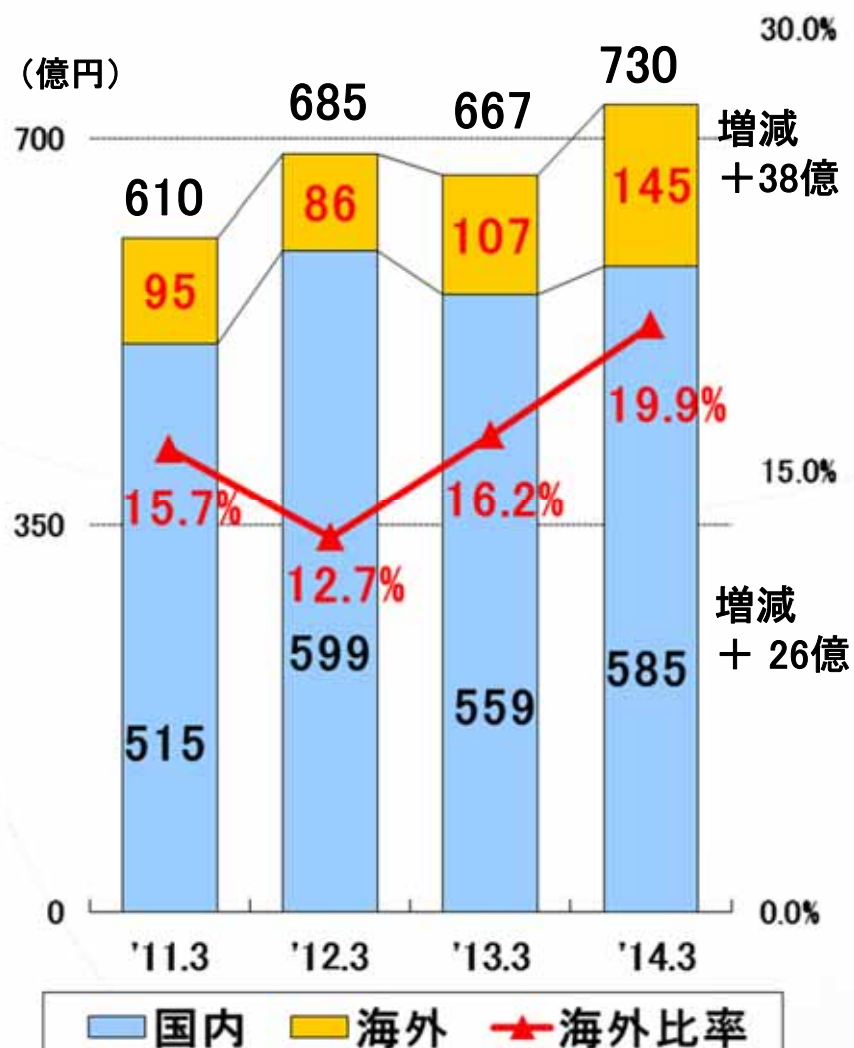
【ソリューション】：電力分野の落ち込みの影響が大きく減少を見込む。

【電子産業】：海外は設備・メンテ共に増加、国内はプラントの増加を見込む。

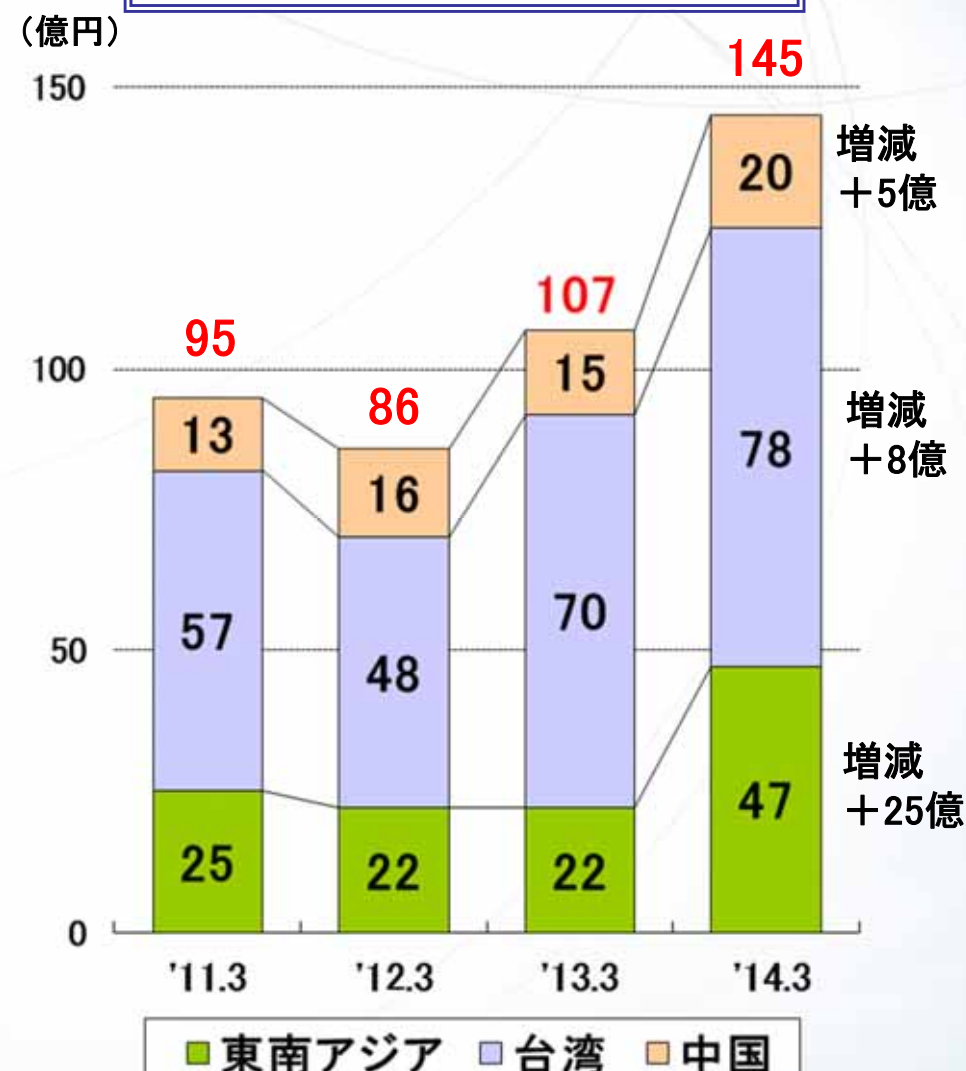
【一般産業】：国内外の食品向けプラントや環境・排水事業分野の伸長などにより増加を見込む。

地域別売上高

国内・海外別売上高

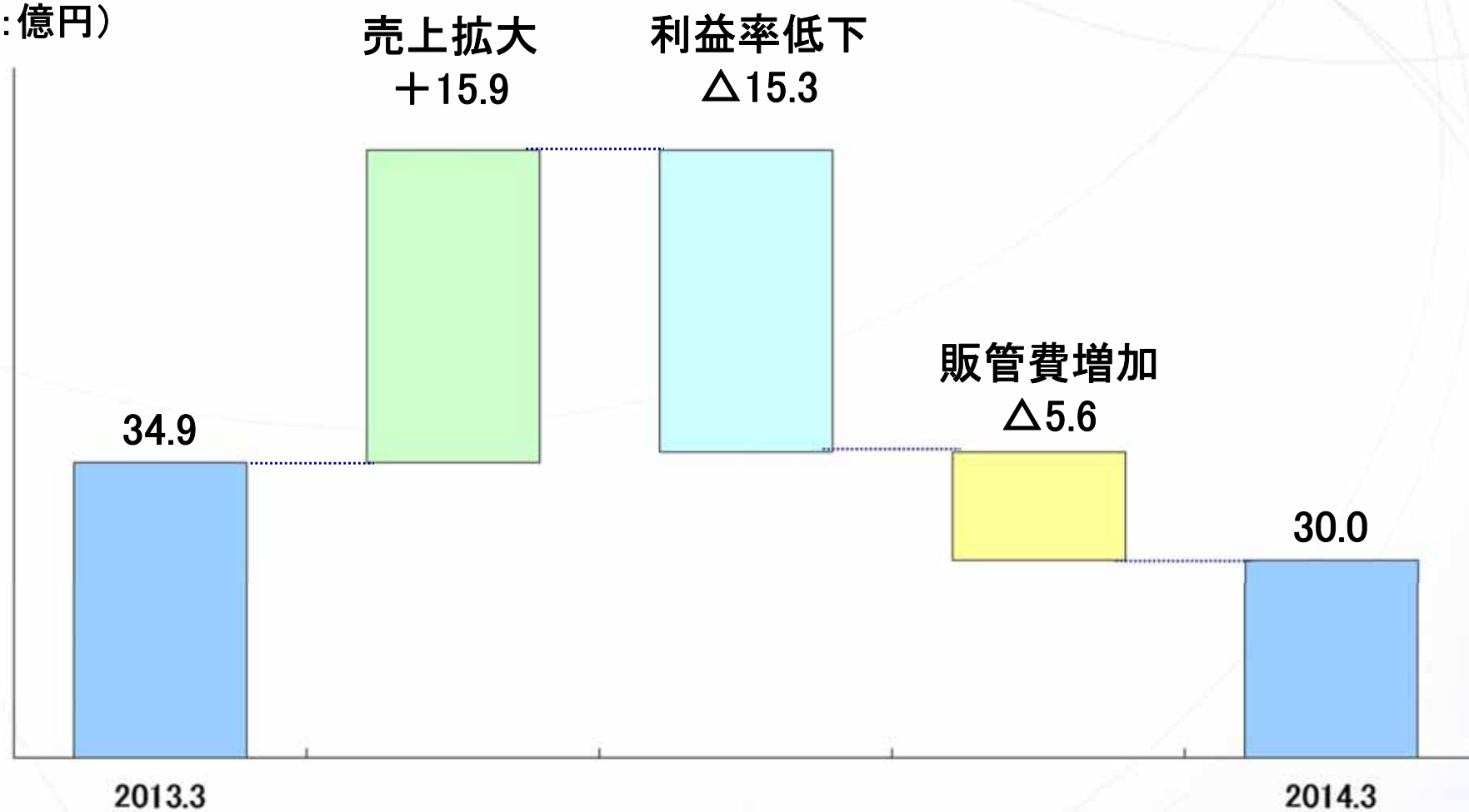


海外地域別売上高

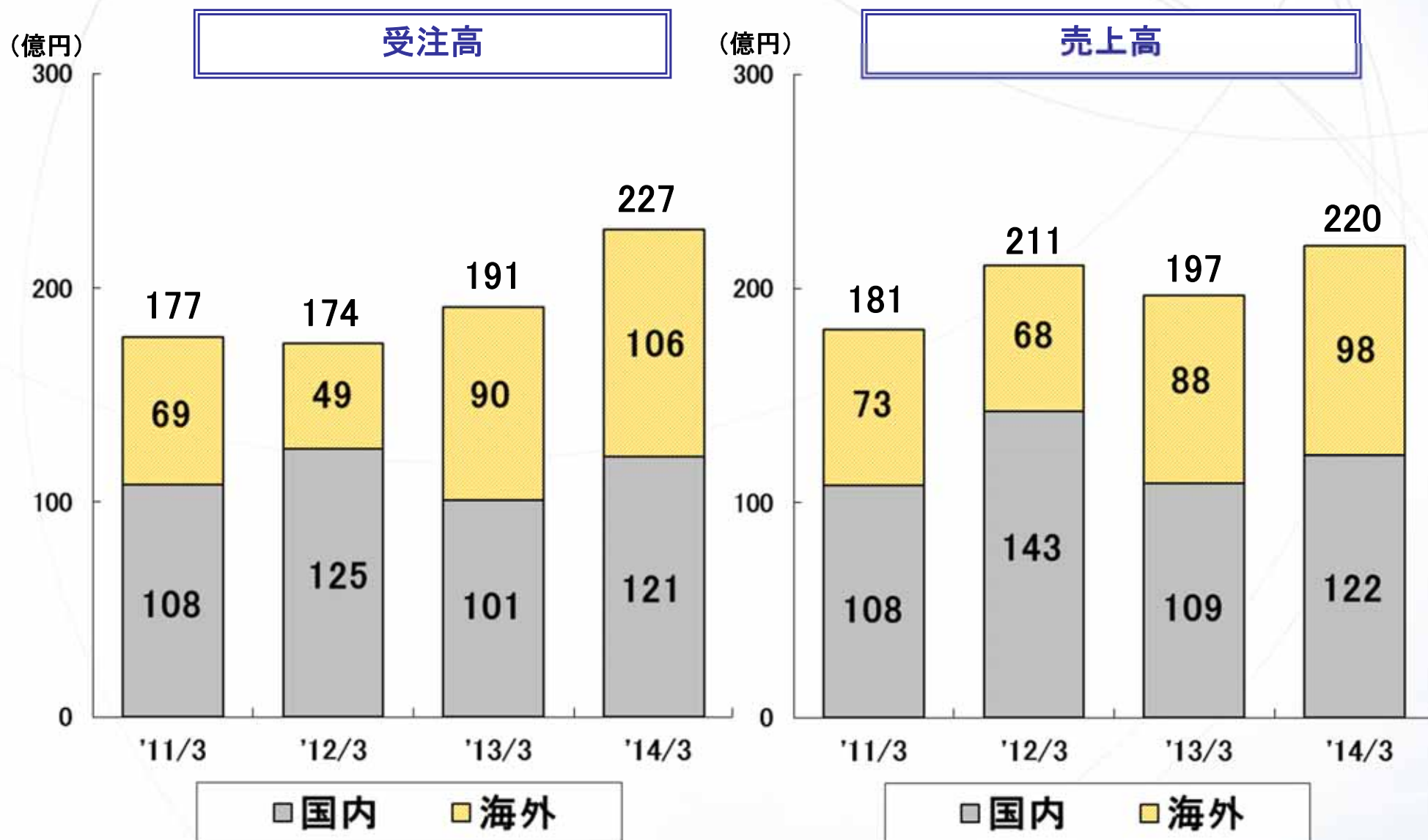


2014年3月期営業利益分析(要因別)

(単位: 億円)



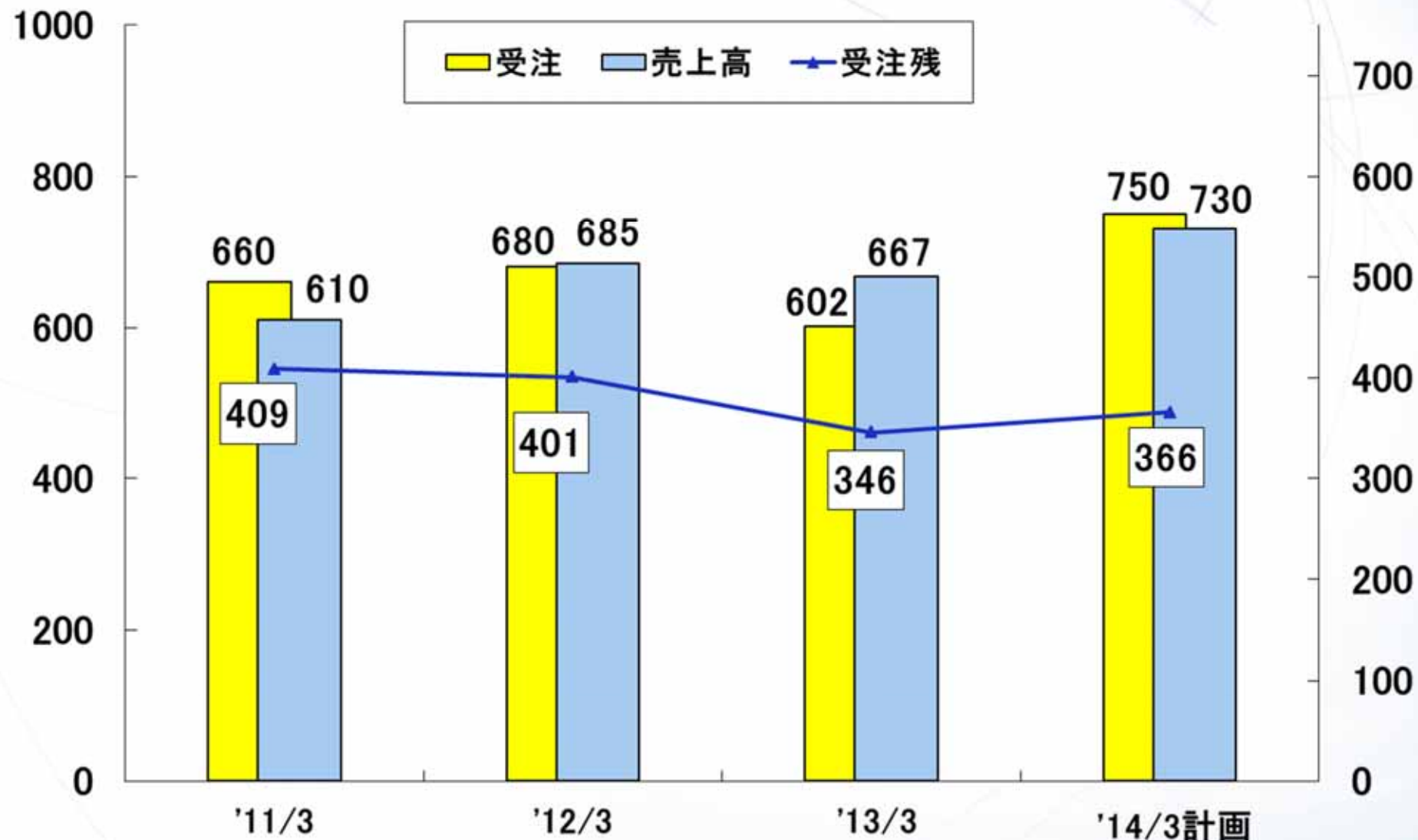
電子産業向 受注高／売上高推移



受注高・売上高・受注残高推移

受注／売上(億円)

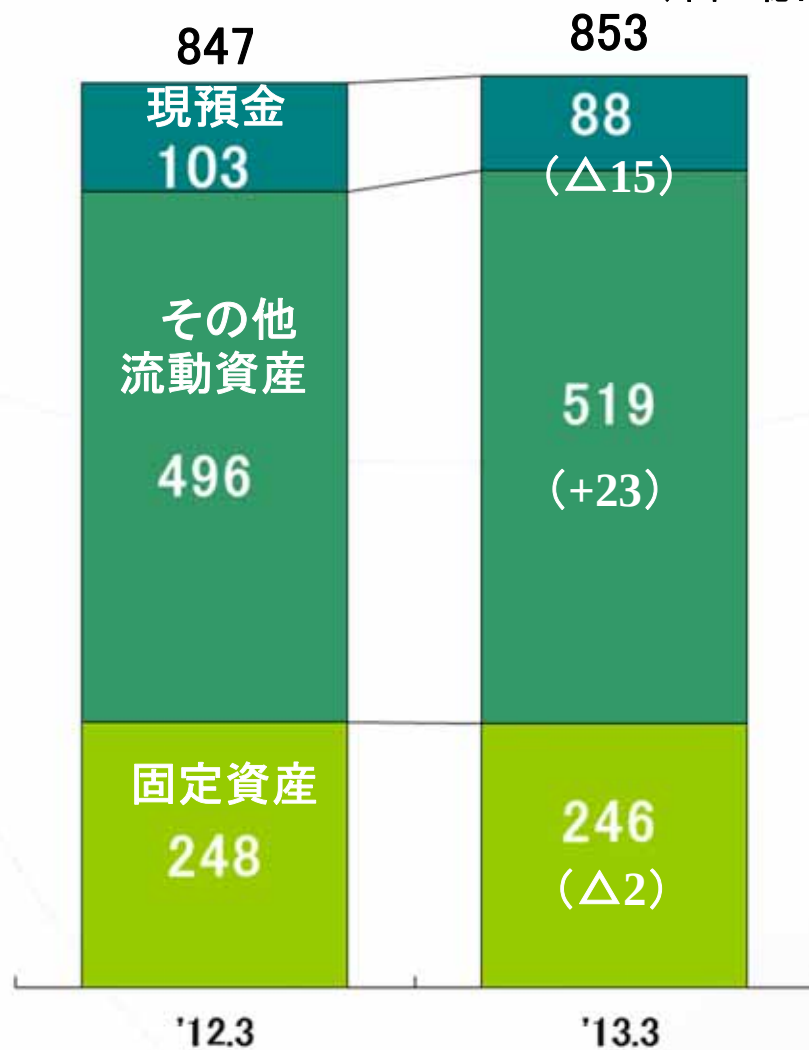
受注残(億円)



貸借対照表

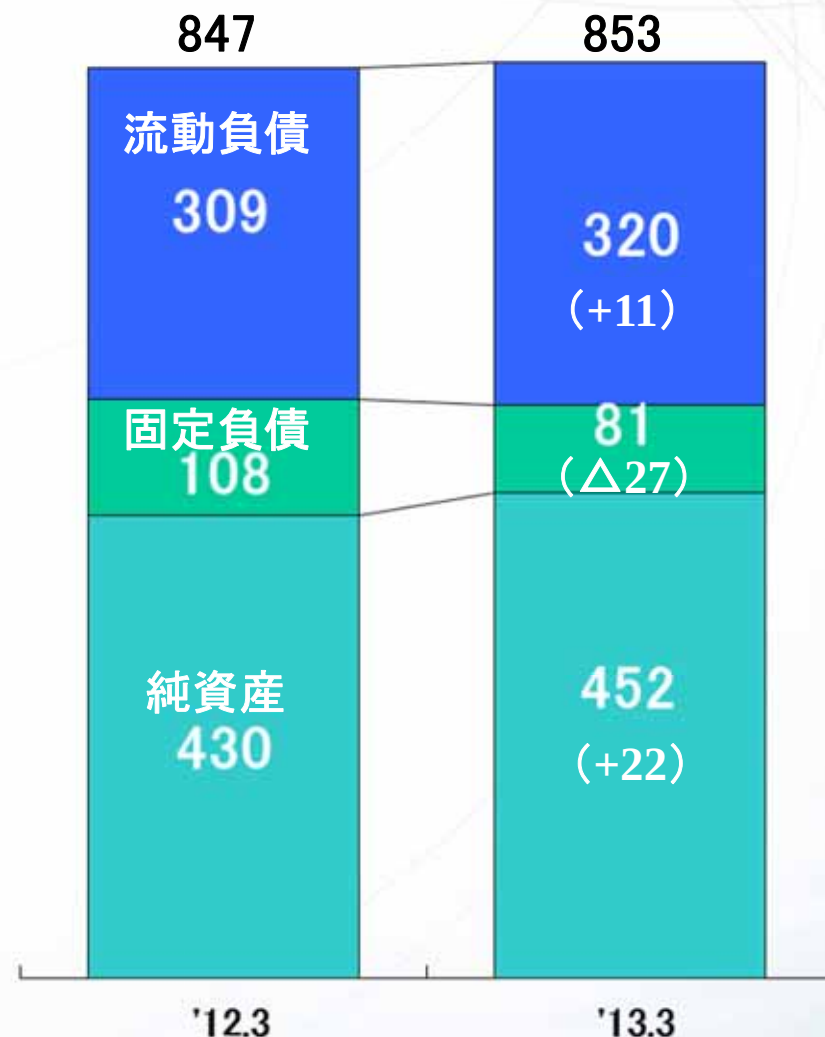
資産の部

(単位: 億円)



負債・純資産の部

(単位: 億円)



主な指標

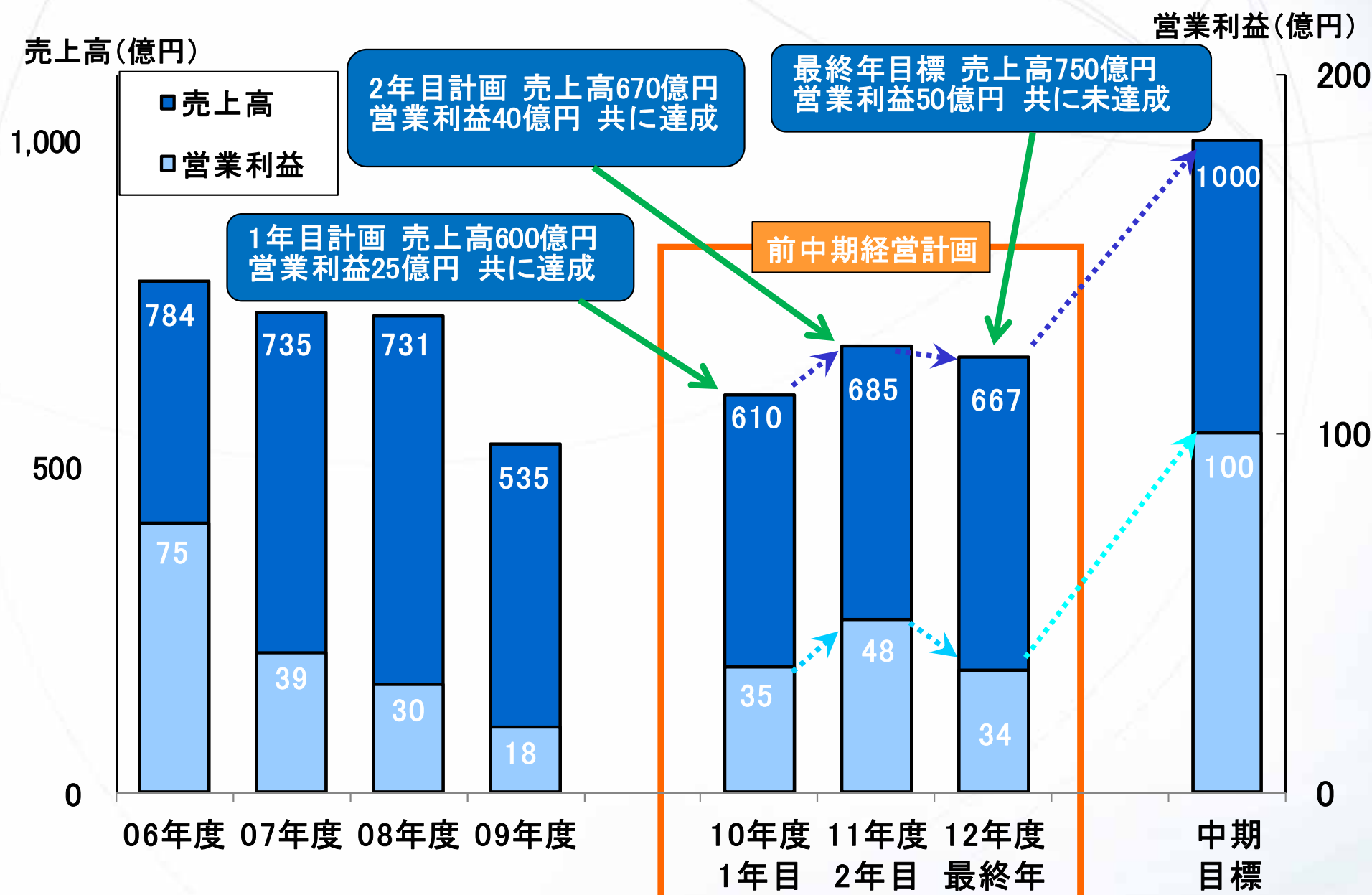
(単位: 億円)

	2013年3月期	2014年3月期(予想)
設備投資額	7	9
技術研究費	16	17
減価償却費	11	11
有利子負債	149	122
従業員数(人)	1,835	1,860
配当金(円)	12／年間配当	12／年間配当

オルガノグループ中期経営計画 について

前中期経営計画 (2010年度～2012年度) 概況

前中期経営計画 連結売上高・営業利益実績



前中期経営計画(2010～2012年度)業況

2010年度及び2011年度は計画に沿った連結売上高・連結営業利益を獲得

<主な要因>

- ◇東日本大震災に見舞われたものの、震災復旧対応やソリューション事業が持続的に拡大
- ◇海外／一般産業／排水の各事業分野が増加

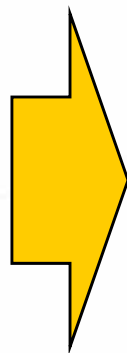
2012年度は最終目標値【連結売上高750億円、連結営業利益50億円】は達成できず

<主な要因>

- ◇プラス面として、一般産業分野での前期からの受注残が順調に売上計上
- ◇一方、電子産業分野は海外では好調も、国内は設備投資、メンテナンス、改造工事の延期により減少
- ◇顧客操業度低下のなか、機能商品事業は横ばい

前中期経営計画 まとめ

- ◆ 2009年度の大幅な業績悪化からの回復
- ◆ 「国内EL大型案件」から「海外・産業全般／純水・排水両輪・中規模案件主軸にサービス・機能商品提供」への事業構造の転換が大きな柱
- ◆ 最終目標として売上750億円、営業利益50億円を掲げる



- ◆ 市場構造の変化は、計画策定時の想定をはるかに上回るスピードで変化
- ◆ 掲げた事業構造の転換は未だ道半ば

新中期経営計画 (2013年度～2015年度) 策定

新中期経営計画 企業コンセプト・企業理念・経営ビジョン

企業コンセプト

“*Ecologically Clean*”

【企業理念】

かけがえのない地球の未来を見つめ、
心と技で水の価値を創造する

【中期経営ビジョン】

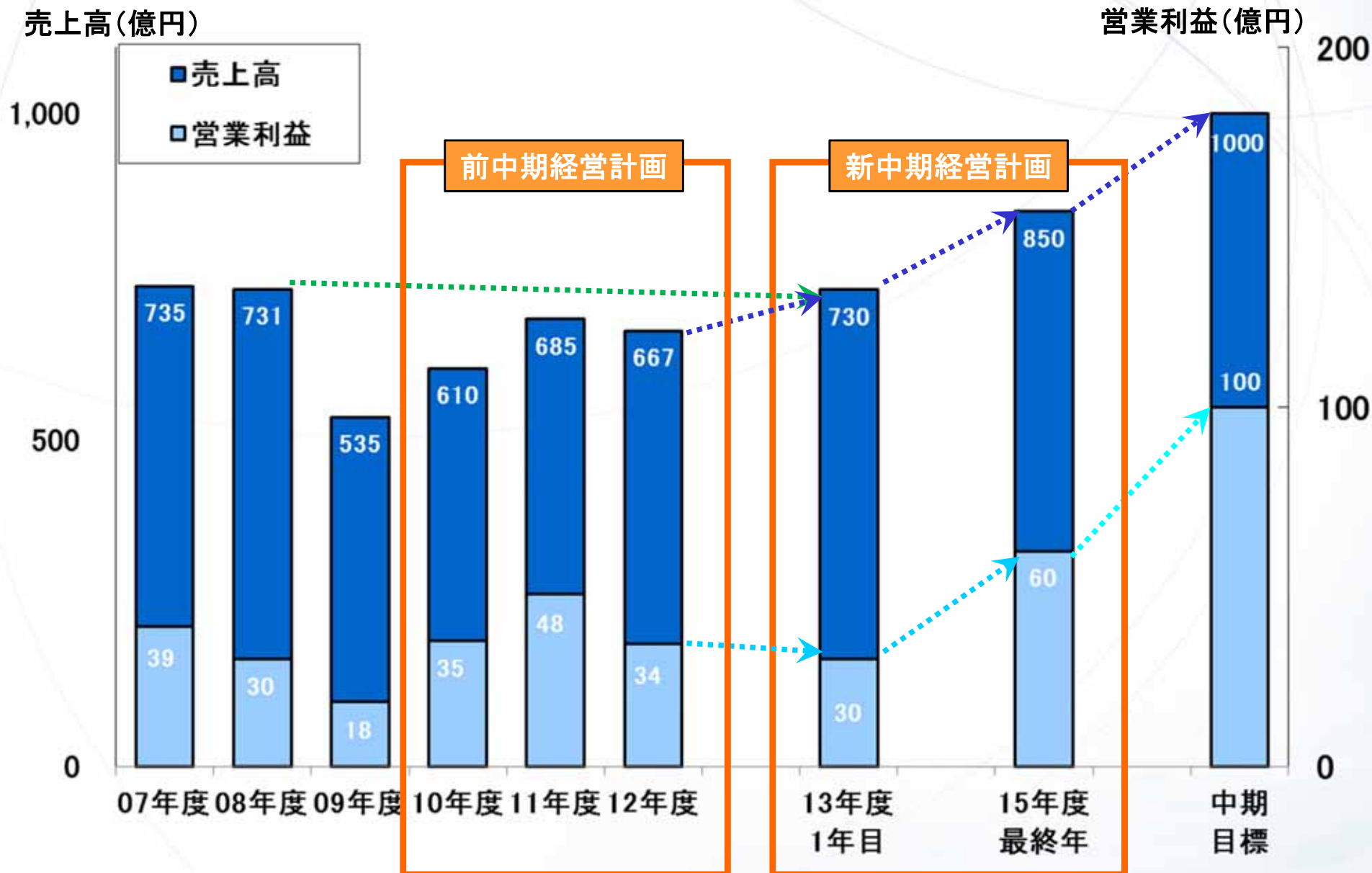
“ワン ストップ ソリューション”
(One Stop Solutions)

水処理事業分野における顧客のあらゆるニーズに対して、
ワン ストップ ソリューション (*One Stop Solutions*) が提供
できる企業グループの実現

中期経営計画の位置付け

	2010～2012年度	2013～2015年度	2015年度～
企業 ビジョン	顧客の価値と満足 (<i>Customer Value</i> : 顧客満足を実現 する製品・サービスの 価値)を創造する 企業	水処理事業分野に おける顧客のあらゆる ニーズに対して、 ”ワンストップ ソリューション” (<i>One Stop Solutions</i>) が提供できる企業 グループの実現	競争の激しい グローバル市場で 生き残れる 売上高1,000億円/ 営業利益100億円 の事業規模の企業 グループを目指す
位置 付け	2009年度的大幅な 業績悪化からの 回復	次のステージに向か うための体制・ 基盤作り	
連結目標 数値	売上高 750億円 営業利益 50億円	売上高 850億円 営業利益 60億円	

新中期経営計画 連結売上高・営業利益計画



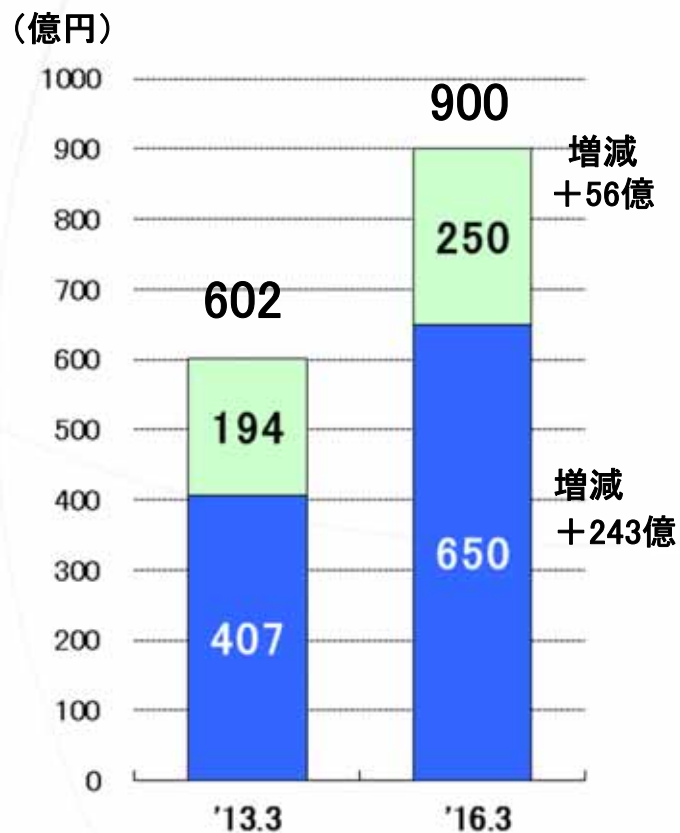
2016年3月期計画

(単位:億円)

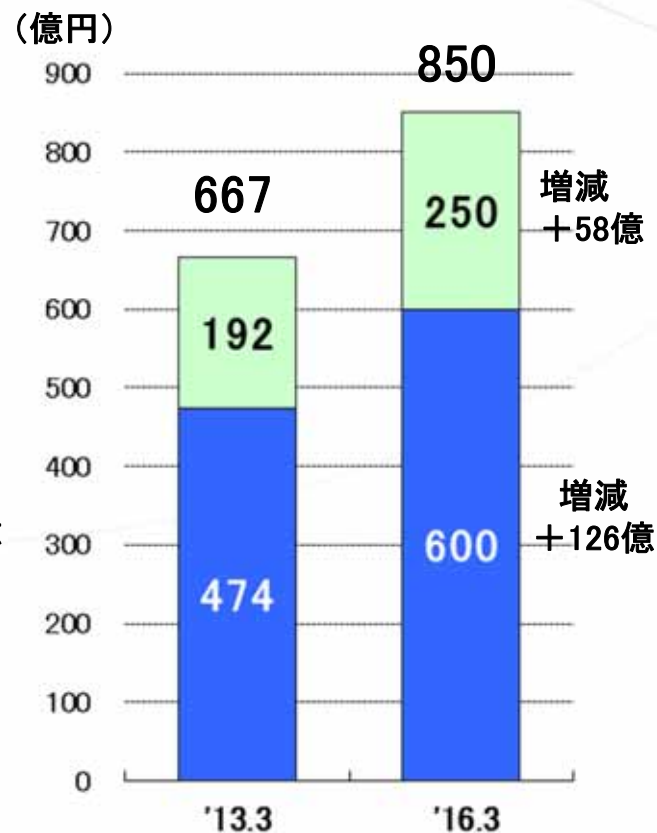
	13.3(実績) 通期	16.3(計画) 通期	通期 比較
受注高	602	900	+ 298
売上高	667	850	+ 183
売上総利益 (%)	168 (25.3%)	210 (24.7%)	+ 42 △0.6pt
販管費	133	150	+ 17
営業利益	34	60	+ 26
経常利益 (%)	39 (5.9%)	58 (6.8%)	+ 19 +0.9pt
当期純利益	25	33	+ 8

2016年3月期計画(セグメント別)

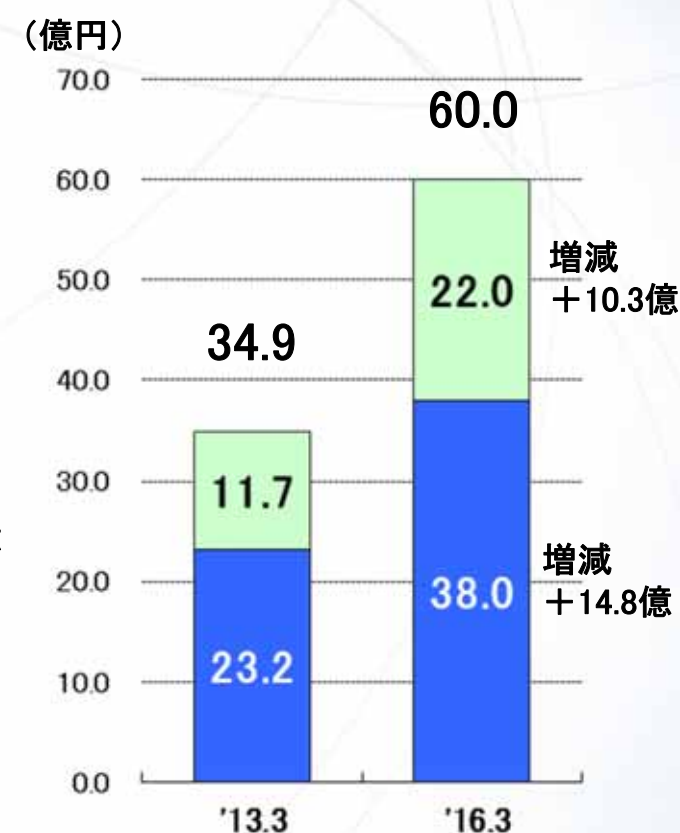
受注高



売上高



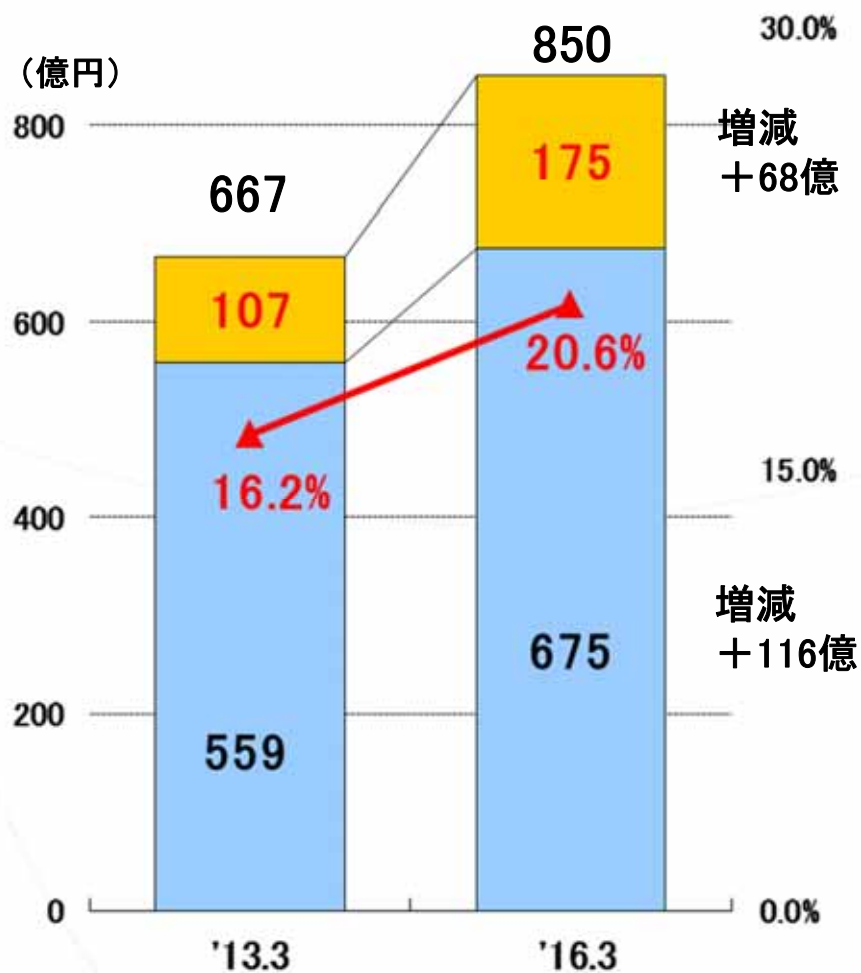
営業利益



■ 水処理エンジニアリング事業 ■ 機能商品事業

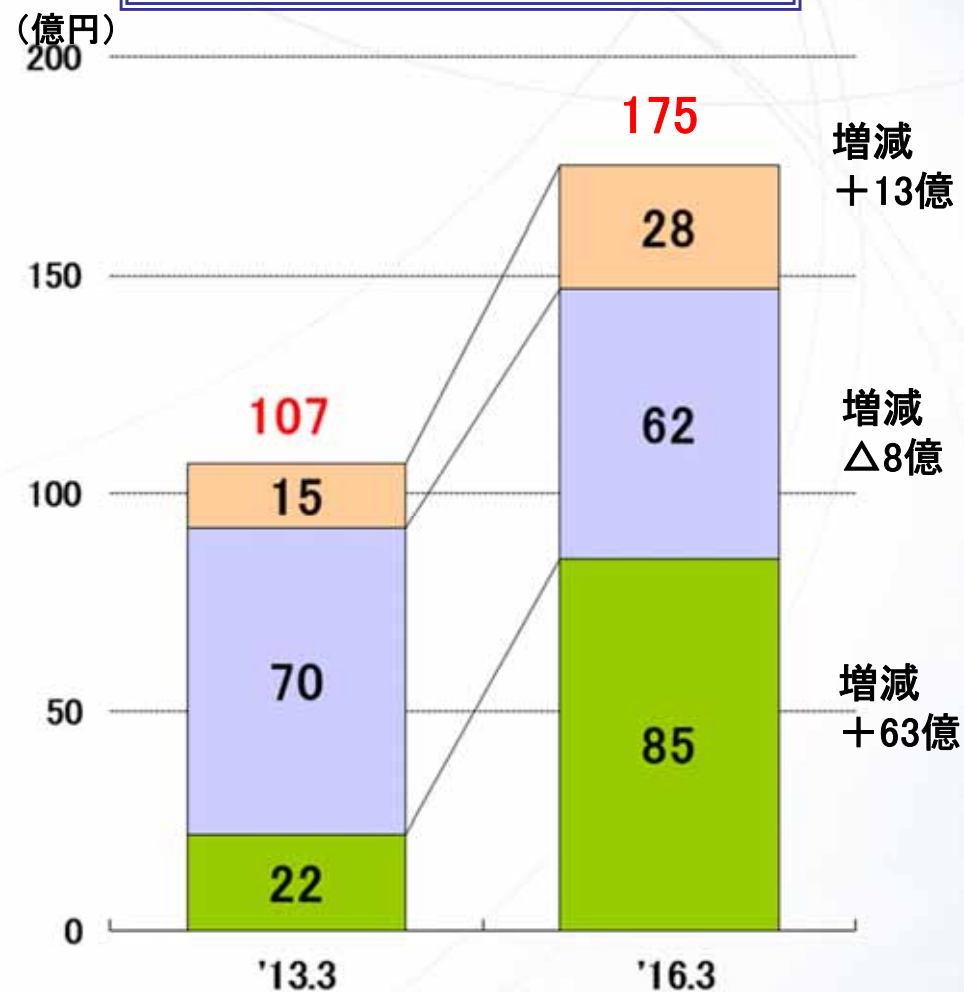
地域別売上高

国内・海外別売上高



国内 海外 海外比率

海外地域別売上高



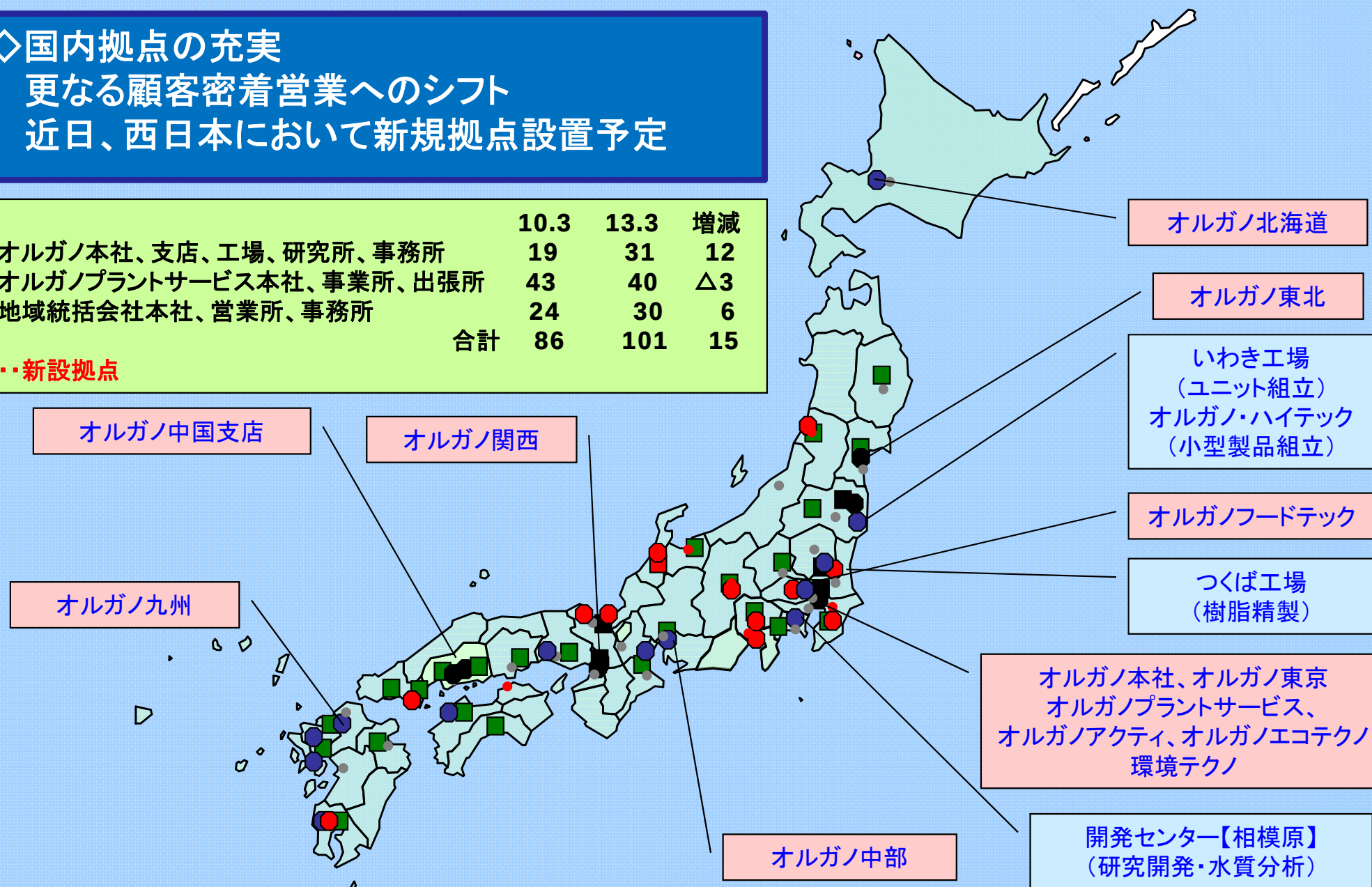
東南アジア 台湾 中国

国内拠点の状況

◇国内拠点の充実
更なる顧客密着営業へのシフト
近日、西日本において新規拠点設置予定

	10.3	13.3	増減
●:オルガノ本社、支店、工場、研究所、事務所	19	31	12
■:オルガノプラントサービス本社、事業所、出張所	43	40	△3
●:地域統括会社本社、営業所、事務所	24	30	6
合計	86	101	15

赤・・・新設拠点

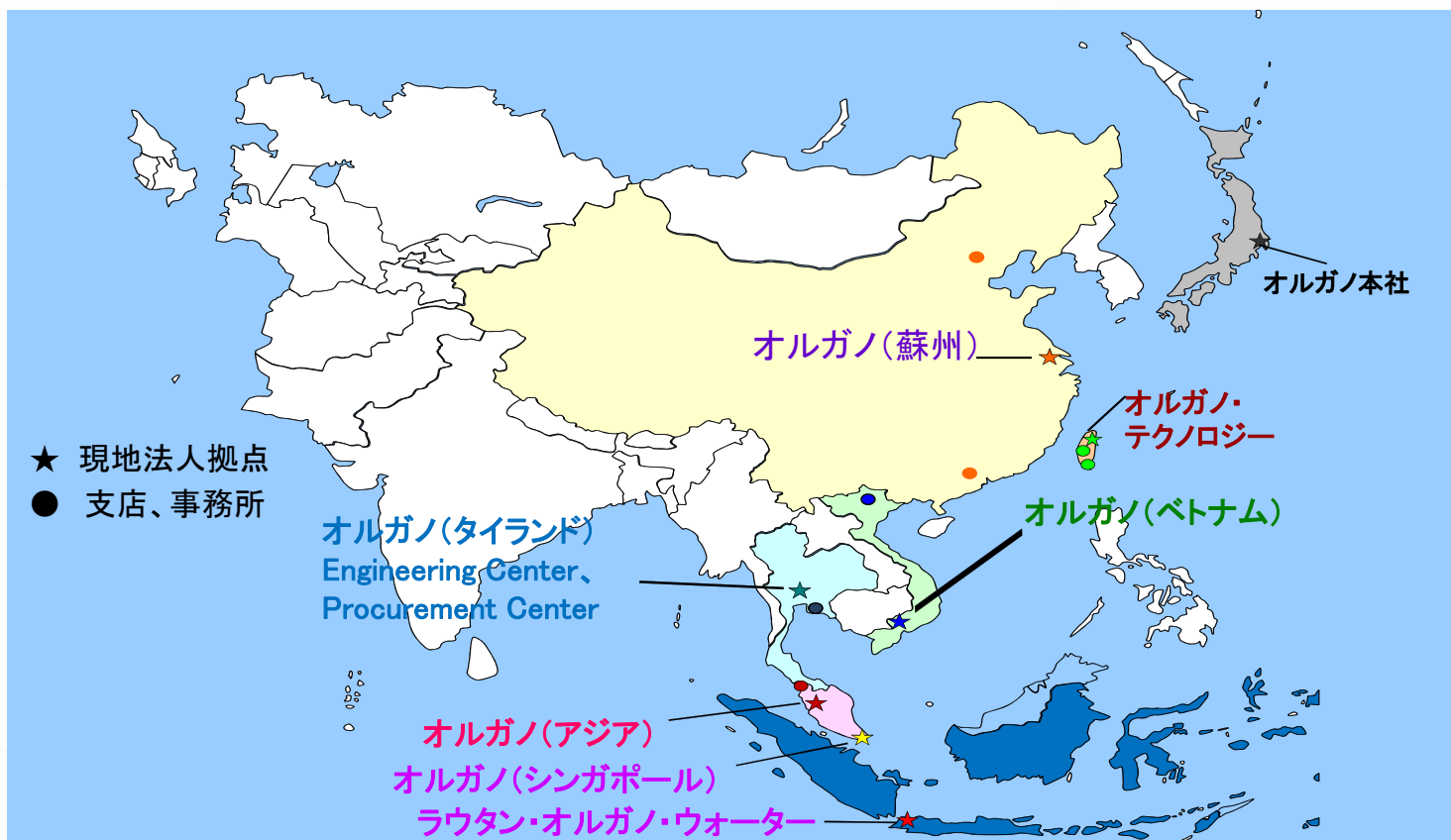


国内産業全般拡大に向けた主な取り組み

- ◆医薬、食品、化学などの一般産業分野における用排水事業の強化
- ◆環境事業分野における明電舎との協業による受注拡大
- ◆電子産業分野案件の確実な受注
- ◆電力分野における代替エネルギーである石炭火力発電所案件対応
- ◆改造、メンテなどのソリューション事業の更なる拡大
- ◆機能商品事業における新商品開発、リニューアルの継続、薬品事業の拡大
- ◆コストダウン・工事力の強化

海外事業拡大に向けた主な取り組み

- ◇インドネシア現地法人による合併事業本格立上げ
- ◇タイにおけるエンジニアリングセンター、調達センター新設によるアジアの顧客への対応の迅速化、コストダウン、技術力強化
- ◇増資によるタイ、ベトナム、インドネシアでの事業拡大対応
- ◇海外事業における地域市場特性に応じた技術・商品開発の推進
- ◇事業拡大強化のためのアライアンス、M&Aの検討



新中期経営計画 まとめ

- ◇ これまで行ってきた事業構造の転換を更に加速し、機動的な開発・製造・営業体制を構築
- ◇ 単に数値目標の達成を追うのみだけでなく、当社グループが次のステージに向かうための体制・基盤作りの3ヶ年計画と位置付け



スーパー
カミオカンデ
向け超純水
製造装置



純水
ボトルド
ウォーター
「purifie」

「スーパーカミオカンデ」から「ボトルドウォーター」まで顧客のあらゆるニーズに対して“ワンストップソリューション”が提供できる企業グループ

体制・基盤作りを行い、新中期経営計画だけでなく、中期目標として連結売上高1,000億円／営業利益100億円を目指す

新商品、新技術など その1

【機能商品事業拡大】

◇ラインアップ強化の継続

(新トレイン化純水製造システム「オルフェーヴ®」、キャビネット型「スーパーデサリナー SDシリーズ」など)

【新トレイン化純水製造システム「オルフェーヴ®」】

- ・様々な顧客のニーズに合わせて2段RO膜ユニットやEDIユニットなど各種装置を必要に応じて列車の車両のように連結することで、必要な条件の純水・超純水を提供
- ・単品の装置でも使用可能
- ・当社従来比約1/3(容積比)まで省スペース化
- ・大型8.4インチカラー液晶タッチパネルを搭載し、運転情報の視認性を向上させ日常管理を簡素化



2段RO膜ユニット
(RDシリーズ)

電気脱塩式純水製造装置
(EY-HF/EY-XPシリーズ)

新商品、新技術など その2

【新規事業拡大】

- ◇工業用水・井水飲用化ビジネス強化
- ◇住生活系商品のさらなる拡大(簡易浄水器「オスモピュア」など)

【工業用水・井水処理用ろ過装置】

- ・余剰工業用水・地下水の再利用、天災など緊急時のライフラインとして利用
- ・上水道コストの削減
- ・課金制採用により設備投資不要



【簡易浄水器「オスモピュア」】

- ・活性炭＋RO膜による水道直結型浄水器
- ・タンクレスでコンパクト
- ・水単価が安い
- ・生菌抑制機能搭載



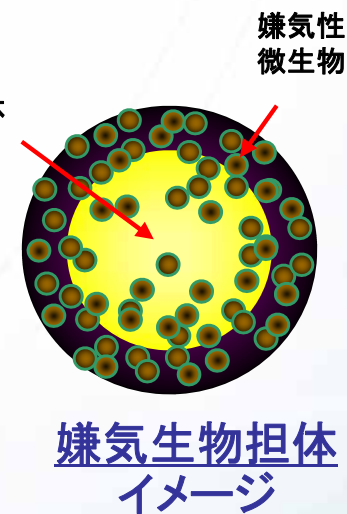
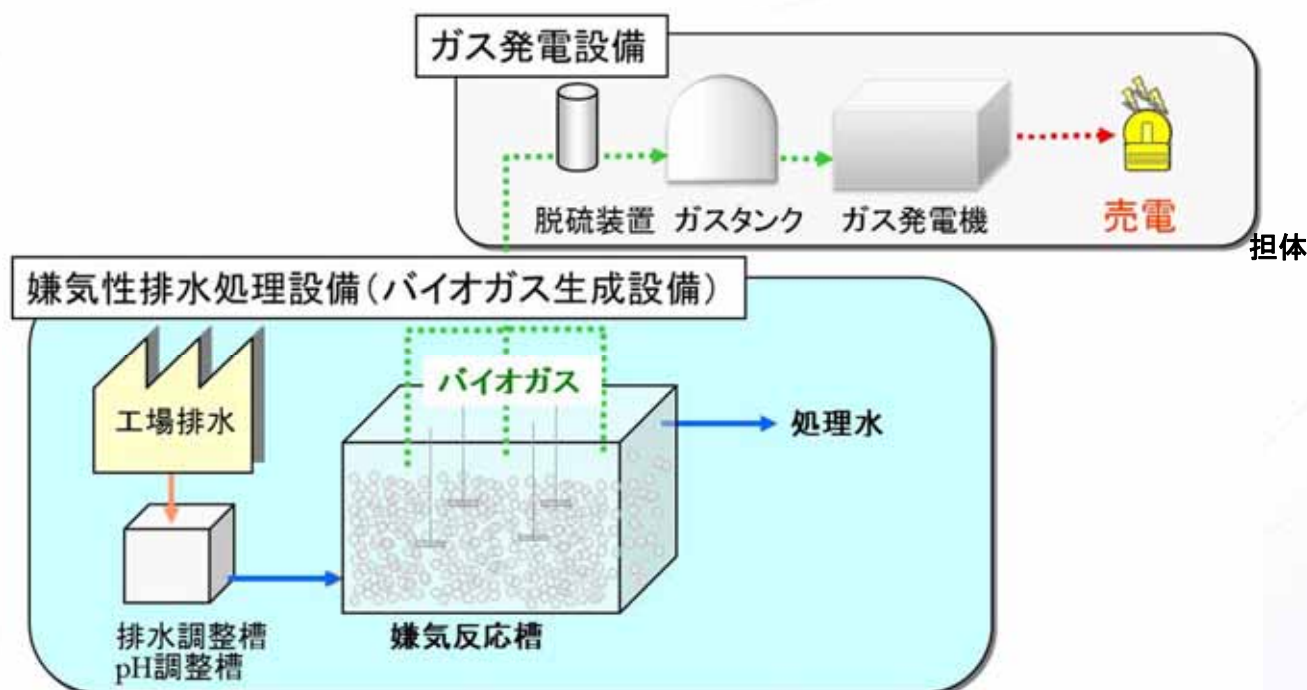
新商品、新技術など その3

【排水事業拡大】

- ◇排水事業推進部署の新設
- ◇一般産業分野向け技術強化(流動担体型高速嫌気処理)

【流動担体型高速嫌気処理】

- ・従来の好気処理に比べ10倍以上、嫌気グラニュール法に比べ3倍以上の高速処理を実現
- ・得られたメタンガスをガス発電機等のエネルギー源として利用可能



参考：前中期経営計画における主な取り組み

【海外事業拡大】

- ◇現地法人の設立（ベトナム、インドネシア）、増資（中国、ベトナム、タイ）
- ◇中国蘇州での研究センター開設
- ◇海外トレーニー制度整備



オルガノ
(ベトナム)
オフィス



オルガノ
(蘇州)
研究センター

【排水事業拡大】

- ◇中小型排水専門会社設立（オルガノエコテクノ）
- ◇技術整備（資源回収、高速凝集沈殿処理、高速加圧浮上処理、MBR法ユニット）
- ◇国内食品分野大規模排水処理設備（4,200m³/日）受注



高速凝集
沈殿装置
パイロットプラント

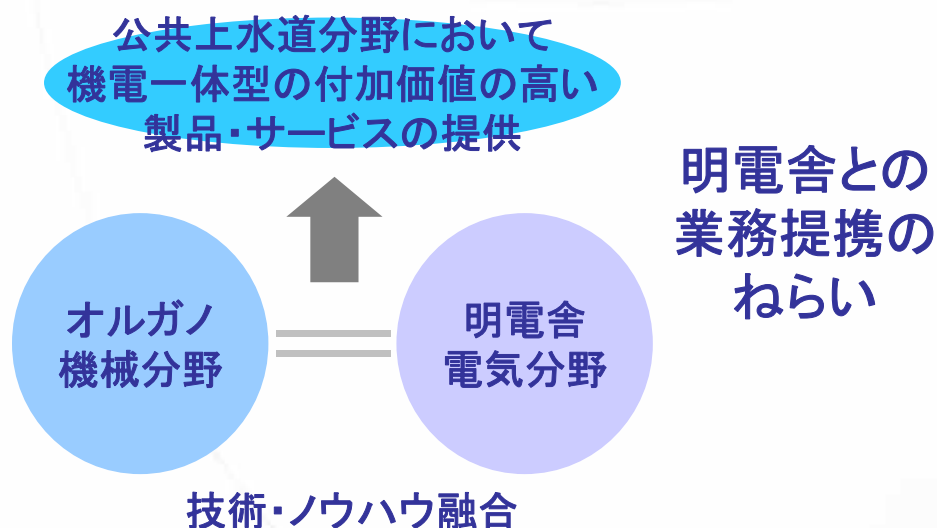


MBR法による
有機排水処理ユニット
「オーファス
OFAS-S1シリーズ」^{β8}

参考：前中期経営計画における主な取り組み

【産業全般拡大】

- ◇ビジネスユニット制の導入による営業強化
- ◇医薬分野、糖液など食品分野での拡大
- ◇海外火力発電所向けビジネスの拡大
- ◇明電舎との国内公共上水道分野での業務提携
- ◇ソリューション拠点、営業拠点の拡大
(庄内、茨城、北本、千葉、富士、甲府、松本、石川、大飯、高浜、周南、長崎)
- ◇受託メニューの充実(処理水供給、包括メンテナンス、運転管理、レンタル・リースなど)



レンタル向け
コンテナ型
純水装置
「ピュアボックス」

参考：前中期経営計画における主な取り組み

【機能商品事業拡大】

- ◇新商品上市によるラインアップ強化
- ◇浄水器フィルター事業拡大(大手ファーストフード、コンビニエンスストア、ファミリーレストランなど)
- ◇食品造粒ビジネス参入



D-4、7型
浄水器
フィルター



オルガノフードテック
幸手工場内
流動層造粒乾燥機

【新規事業拡大】

- ◇純水ボトルウォーター「purifie (ピュリフィ)」発売
- ◇住宅用空気清浄機「エアワッシャー」発売



純水
ボトルド
ウォーター
「purifie」



住宅用空気清浄機
「エアワッシャー」

本日はご出席頂きまして 誠にありがとうございました。

(お問合せ先)

オルガノ株式会社

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8

経営企画部企画グループ(担当 竹井)

TEL 03-5635-5111

FAX 03-3699-7240

URL <http://www.organo.co.jp>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2013年3月期決算説明会 補足資料



オルガノ株式会社

2013年5月15日

<目 次>

1.	2013年3月期決算報告及び2014年3月期計画		
	① 連結損益	-----	1
	② セグメント別（連結）	-----	2
	③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）	-----	2
2.	主な指標	-----	3

■■業績の予想について■■

本資料に記載される業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。



オルガノ株式会社

1. 2013年3月期決算報告及び2014年3月期計画

① 連結損益

(単位：百万円)

	2012年3月期		2013年3月期						2014年3月期 (計画)			
	通期		第2四半期累計期間		通期			(前回予想)	第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	(前回予想)	実績	前期比		計画	前期比	計画	前期比
受 注 高	68,041	3.0 %	31,834	△ 15.5 %	70,000	60,238	△ 11.5 %		34,000	6.8 %	75,000	24.5 %
売 上 高	68,502	12.1 %	29,566	△ 2.2 %	70,000	66,718	△ 2.6 %		30,000	1.5 %	73,000	9.4 %
海外売上高 (海外売上高比率)	8,671	△ 9.4 %	3,732	△ 8.1 %	9,500	10,792	24.5 %		7,000	87.6 %	14,500	34.4 %
	12.7%		12.6%		13.6%	16.2%			23.3%		19.9%	
売 上 総 利 益 (売上総利益率)	18,365	15.0 %	7,587	△ 11.2 %	17,500	16,846	△ 8.3 %		6,800	△ 10.4 %	16,900	0.3 %
	26.8%		25.7%		25.0%	25.3%			22.7%		23.2%	
販 管 費	13,515	8.7 %	6,576	1.7 %	13,500	13,348	△ 1.2 %		6,600	0.4 %	13,900	4.1 %
営 業 利 益 (営業利益率)	4,849	37.3 %	1,010	△ 51.2 %	4,000	3,498	△ 27.9 %		200	△ 80.2 %	3,000	△ 14.2 %
	7.1%		3.4%		5.7%	5.2%			0.7%		4.1%	
経 常 利 益 (経常利益率)	4,782	41.5 %	1,045	△ 47.4 %	3,900	3,909	△ 18.3 %		100	△ 90.4 %	2,800	△ 28.4 %
	7.0%		3.5%		5.6%	5.9%			0.3%		3.8%	
当 期 純 利 益 (当期純利益率)	2,683	44.4 %	634	△ 40.4 %	2,200	2,564	△ 4.4 %		40	△ 93.7 %	1,500	△ 41.5 %
	3.9%		2.1%		3.1%	3.8%			0.1%		2.1%	

② セグメント別（連結）

（単位：百万円）

	2012年3月期		2013年3月期					2014年3月期（計画）			
	通期		第2四半期累計期間		（前回予想）	通期		第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比		実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受 注 高	68,041	3.0 %	31,834	△ 15.5 %	70,000	60,238	△ 11.5 %	34,000	6.8 %	75,000	24.5 %
水処理エンジ	48,684	6.4 %	22,022	△ 20.4 %	49,200	40,786	△ 16.2 %	23,600	7.2 %	53,400	30.9 %
機能商品	19,357	△ 4.7 %	9,812	△ 1.7 %	20,800	19,452	0.5 %	10,400	6.0 %	21,600	11.0 %
売 上 高	68,502	12.1 %	29,566	△ 2.2 %	70,000	66,718	△ 2.6 %	30,000	1.5 %	73,000	9.4 %
水処理エンジ	49,096	20.9 %	20,253	△ 2.3 %	49,200	47,468	△ 3.3 %	19,600	△ 3.2 %	51,400	8.3 %
機能商品	19,405	△ 5.2 %	9,312	△ 2.0 %	20,800	19,249	△ 0.8 %	10,400	11.7 %	21,600	12.2 %
営 業 利 益 （営業利益率）	4,849	37.3 %	1,010	△ 51.2 %	4,000	3,498	△ 27.9 %	200	△ 80.2 %	3,000	△ 14.2 %
	7.1%		3.4%		5.7%	5.2%		0.7%		4.1%	
水処理エンジ （利益率）	2,871	78.4 %	556	△ 51.7 %	2,400	2,321	△ 19.2 %	△ 500	— %	1,400	△ 39.7 %
	5.8%		2.7%		4.9%	4.9%		— %		2.7%	
機能商品 （利益率）	1,977	2.8 %	454	△ 50.5 %	1,600	1,177	△ 40.5 %	700	54.0 %	1,600	35.9 %
	10.2%		4.9%		7.7%	6.1%		6.7%		7.4%	

③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）

（単位：百万円）

	2012年3月期		2013年3月期					2014年3月期（計画）			
	通期		第2四半期累計期間		（前回予想）	通期		第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比		実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受 注 高	17,354	△ 1.9 %	7,680	△ 30.1 %	19,220	19,088	10.0 %	10,000	30.2 %	22,700	18.9 %
国 内	12,483	16.0 %	4,430	△ 29.8 %	9,640	10,079	△ 19.3 %	5,000	12.9 %	12,140	20.4 %
海 外	4,871	△ 29.6 %	3,250	△ 30.5 %	9,580	9,009	85.0 %	5,000	53.8 %	10,560	17.2 %
売 上 高	21,149	16.6 %	8,355	△ 23.9 %	18,750	19,723	△ 6.7 %	9,000	7.7 %	22,000	11.5 %
国 内	14,345	33.0 %	5,421	△ 26.5 %	11,000	10,906	△ 24.0 %	4,300	△ 20.7 %	12,200	11.9 %
海 外	6,804	△ 7.4 %	2,934	△ 18.6 %	7,750	8,817	29.6 %	4,700	60.2 %	9,800	11.1 %

2. 主な指標

(単位：百万円)

		2012年3月期		2013年3月期		2014年3月期 (計画)	
		通期		通期		通期	
		実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
連 結	設備投資額	763	△ 38.2 %	720	△ 5.7 %	900	25.0 %
	技術研究費	1,902	7.2 %	1,655	△ 13.0 %	1,750	5.7 %
	減価償却費	1,190	△ 1.7 %	1,159	△ 2.6 %	1,100	△ 5.1 %
	有利子負債	13,888	22.0 %	14,901	7.3 %	12,200	△ 18.1 %
	金融収支戻	△ 68	—	48	—	△ 60	—
	従業員数 (人)	1,770	+ 50 人	1,835	+ 65 人	1,860	+ 25 人
	E P S : 1 株当たり当期純利益 (円)	46.57		44.52		26.04	
	1 株当たり配当金 (円／年)	12.0		12.0		12.0	
	R O E : 自己資本当期純利益率 (%)	6.4		5.9		—	
	R O A : 総資産経常利益率 (%)	5.9		4.6		—	